

事業名	自衛防疫強化総合対策事業		
細事業名	自衛防疫強化総合対策費補助金	財務コード	059503
担当部課室	農政 部 畜産 課 安全・衛生 担当 (内線)		5264

## 事業の概要

実施期間	始期 S57 年度 ~ 終期 年度
実施主体	補助((公社)山梨県畜産協会)
事業の目的	だれ(何)を対象に 畜産農家(酪農、肉用牛、養豚、鶏) その対象をどのような状態にして 自発的に疾病の発生予防ができてい る 結果、何に結びつけるのか 家畜伝染病の発生を予防し、畜産物の 生産が安定
事業の内容 主にH26年度	公益社団法人 山梨県畜産協会が実施する家畜の伝染性疾病予防対策推進事業に助成。 事業内容 ワクチン接種にかかる経費の補助 豚流行性下痢(PED)の県内発生に伴い、まん延防止のために農家が設置した消毒機器(動力噴霧器)及び消毒にかかる 薬剤及びワクチン接種にかかる経費の補助 補助内容及び補助率 通年 鶏疾病ワクチン(ニューカッスル病、伝染性気管支炎)・・・1/3 牛疾病ワクチン(流行性感冒、牛伝染性鼻気管炎、アカバネ病)・・・80円/頭 豚疾病ワクチン(豚丹毒)・・・31円/頭 PED発生に伴う措置 動力噴霧装置一式・・・1/4 消毒薬・・・1/4 PEDワクチン接種・・・1/4 動力噴霧装置及び消毒薬については、国から1/2補助付き
根拠法令等	家畜伝染病予防法、消費・安全対策交付金実施要綱・要領、山梨県自衛防疫強化総合対策事業費補助金交付要綱

## 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	25年度	26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動 指標	牛ワクチン	4,228	6,266	3,078	6,200	6,200	活動 指標 目標設定の考え方 過去の実績から設定 単位: ~、頭羽数、台数、 個数 データの出典等 当初予算書
	豚ワクチン	8,994	8,800	6,855	9,000	9,000	
	鶏ワクチン	530,000	684,982	692,000	694,000	694,000	
	動力噴霧器	-	11	11	-	-	
	消毒薬	-	41	41	-	-	
	PEDワクチン	-	5,336	5,336	-	-	
活動指標達成率 (実績値/目標値)			%				
成果 指標	ワクチン接種疾病の 発生件数	0件	0件	PED4件	1件	0件	成果 指標 目標設定の考え方 ワクチン接種疾病の発生件数「0件」 を目標値として設定 データの出典等 家畜伝染病発生報告
	成果指標達成率 (実績値/目標値)			%			
	決算額又は予算額 (千円)うち一財額	1,190	1,190	4,245	2,657	1,348	
所要時間(直接分)	88 時間		112 時間		88 時間	88 時間	全国でPED発生が大流行するなか、本 県でもH26年5月に3件が発生したため、 PED対策を全県下で行った結果、畜産関 係者の衛生意識が向上し、と畜場内の消 毒、飼料運搬等の車両消毒が徹底され た。
所要時間(間接分)	18 時間		25 時間		18 時間	18 時間	
所要時間計	106 時間		137 時間		106 時間	106 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,048円×所要時間)	217		281		217	217	

## これまでの事業の見直し・改善状況

H21年度、一部ワクチンにおいて国の交付方法が変更されたことに伴う事業整理を行った。

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H26年度活動指標の達成率		牛及び豚については、飼養頭数減少のため予定ワクチン接種数よりも実績は減少した。また、鶏については、飼養羽数が増加したため、予定ワクチン接種羽数よりも実績は増加した。PEDについては、全国的な発生を受け動力噴霧装置の整備、消毒薬の購入、ワクチン接種について希望農家への助成を行った。
	b	以上から、個々の頭羽数に若干の増減はあったものの、全体的には概ね予定どおりの活動量であった。

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)  
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H26年度成果指標の達成率		ワクチン接種を行い、自衛防疫を推進している疾病については、県内発生がなく、意図した成果を上げている。PEDについては、5月に3件の発生があったが、事業対象疾病でなかったため、発生後に行った助成によって、3件とも年内に終息することができた。H26年度内の発生は、その後1件(H27年2月)に終わり、大流行には至らなかった。H26年度の発生が計4件で終わったことから、予防及び発生後の対策は一定の成果を上げている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性		以外の判断項目
有	全国並びに県内における伝染病の発生状況を勘案しながら、補助対象ワクチンの見直し、需要に見合った事業量等の検討を行い、県内における家畜伝染病の発生を抑え、最小限の被害にすることで畜産物の安定的な生産につなげる必要がある。	b

・「以外の判断項目」の欄  
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託  
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: 7Qの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成28年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	H27年度のワクチン接種状況および近年の飼養頭数の減少、全国における伝染病の発生状況、発生時の被害規模を勘案し、補助対象ワクチンならびに各事業量の見直しを行った。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること  
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること